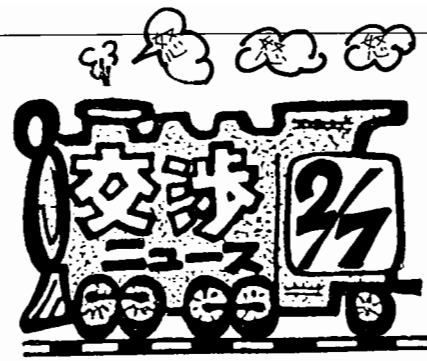


臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！



成田縮小 殺人交番 強制配転 なんかのめるか！

「60・3」において、当局は蘇我機関支区の派出所化、成田運転区の縮小という、断じて許せぬ提案を行っている。勤労千葉は「申第10号」をもって、職場の闘いと結合した団体交渉を強化してきた。2月7日の団体交渉においても「提案どおりお願いします」との答弁に終始する当局を厳しく追及した。

蘇我

「蘇我廃止は合理化ではない」(!?)
――当局の暴論―― 一方的配転攻撃に怒りの追及

蘇我機関支区は乗務員33名、車両検査係3名、運転検修係5名、事務係1名の仲間が働く貨物基地（千葉市内）であるが、当局は「60・3」で「派出所化」を提案し、機関士（交番係）、構内（誘導）各3名を除く全員を新小岩機関区（東京都内）へ全く一方的に配転させようとしている。2月7日の団交では「配転協定」を無視し、労働者を将棋の駒のごとく扱う当局に対して、激しい怒りが叩きつけられた。

（組合） 蘇我支区の派出所化は実質的な廃止提案であり「配転協定」を無視した新小岩への配転は認めることはできない。
（当局） ダイ改は輸送業務の改正であり、結果として業務機関の整理・統合がでてくるが、合理化ではない。従って「配転協定」「近代化に伴う配転協定」は適用できない。
（組合） 全員新小岩へ行けということか。
（当局） 本人の職歴、通勤状態、家族構成等を考慮して判断する。
（組合） 8月29日に提案しながら今まで何をやってきたのか。新小岩へ行きたくない人もいる。「協定」を適用しなければ蘇我に残る。
（当局） 転勤希望をとってから対処し検討する。
（組合） 廃止を提案する以上、「協定」を準備するとの姿勢でなければ話し合えない。
（当局） 「準用」という点については検討したい

成田

「3泊4日仕業」「早朝出勤の長時間労働」 (!!)
――生活を破壊する「60・3」に怒り爆発――

当局は成田運転区の業務量を削減したうえで、さまざまな労働強化の提案を行ってきている。実に、「21仕業」32名の乗務員削減」に加え、「朝と晩に集中する仕業」は、乗務員が一担出勤すれば3泊4日しなければ帰宅できないということとんでもない殺人的な交番である。
成田支部組合員は、生活破壊をもたらす常軌を逸した提案の撤回を求め、連日の区長交渉を展開している。2月7日の団交の席上、当局姿勢を厳しく追及した。

（組合） 成田運転区の業務縮小、要員削減は不当である。成田の仕業は著しく均衡を逸しており、昼間帯の仕業をもつてくるなど解消をはかれ。
（当局） 「60・3」は効率化を追求するということなので、提案のなかみで検討してほしい。
（組合） 業務の拡大についてはどうか。
（当局） 考えていない。提案通りお願いしたい。

徹底した非協力・安全確認行動で 不誠実な当局を追いつめよ

すべての組合員の皆さん。このように当局回答は誠意の一カケラもない不当・不誠実きわまりないものだ。当局の狙いは、30年前の労働条件に戻そうとするものであり、運転保安上からも決して容認できるものではない。
組合員の利益を守り、乗務員・乗客の生命と生活を守るためにも全力で決起し「60・3」を阻止しよう。団体交渉を強化し、徹底した非協力・安全確認行動の展開で当局に怒りを叩きつけよう。職場のすみずみから怒りを総結集し、「60・3」実力決起の態勢を万全に築き上げよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！